

少子高齢化について

提出期限 課題名

〇〇学部 〇〇学科

9999999 神戸 太郎

1. 少子高齢化の現状

我が国の年間の出生数は、第1次ベビーブーム期には約270万人であったが、1975年（昭和50）に200万人を割り込み、それ以降、毎年減少し続けた。1984年には150万人を割り込み、1991年以降は増加と減少を繰り返しながら、緩やかな減少傾向となっている。2020年の出生数は、84万835人となった。

1人の女性が生涯に何人子どもを産むかを示す合計特殊出生率をみると、第1次ベビーブーム期には4.3を超えていたが、2005年には過去最低である1.26まで落ち込んだ。その後、2015年には1.45まで上昇したものの、2020年は1.33となり、前年の1.36を0.03ポイント下回った。

その結果、表2のように日本の人口構成は、年少人口（15歳未満）が11.8%、働き盛りの生産年齢人口（15～64歳）が59.4%、高齢者人口（65歳以上）が28.9%となった。現在の状況を基にした見通しでは、令和47（2065）年には高齢者人口は38.4%に達して、国民の約2.6人に1人が65歳以上、3.9人に1人が75歳以上の者となると推計されている。

表1 出生数及び合計特殊出生率の年次推移

年次	出生数 (10人)	合計特殊出生率 (%)	特記事項
1947 昭和22	267,879	4.54	第1次ベビーブーム (1947~49年)
50 25	233,751	3.65	
55 30	173,069	2.37	
60 35	160,604	2.00	
65 40	182,370	2.14	
70 45	193,424	2.13	第2次ベビーブーム (1971~74年)
75 50	190,144	1.91	
80 55	157,689	1.75	
85 60	143,158	1.76	
90 平成 2	122,159	1.54	
95 7	118,706	1.42	
2000 12	119,055	1.36	
5 17	106,253	1.26	
10 22	107,131	1.39	
15 27	100,572	1.45	
2020 令和 2	84,084	1.33	

出典：厚生労働省「人口動態統計」を基に作成。

図1 2020年と2065年の人口ピラミッド比較

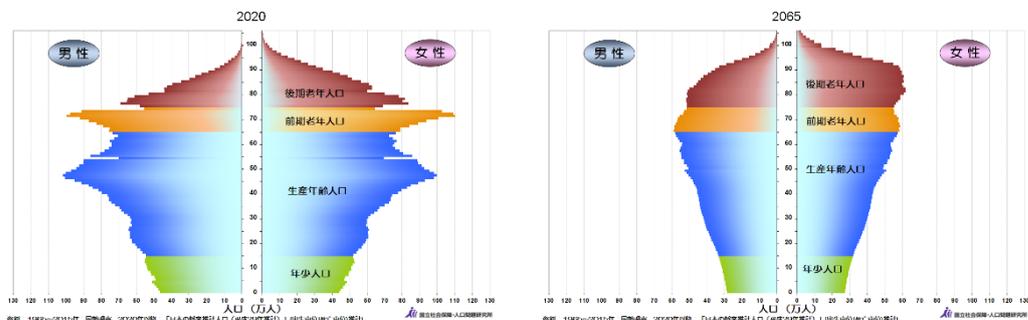


表2 高齢化の現状

令和3年10月1日（令和2年国勢調査を基準とする推計値）		総数	男	女
構成比 (%)	総人口	100.0	100.0	100.0
	65歳以上人口（高齢化率）	28.9	25.8	31.8
	65～74歳人口	14.0	13.8	14.2
	75歳以上人口	14.9	12.0	17.6
	15～64歳人口	59.4	61.8	57.0
	15歳未満人口	11.8	12.4	11.2
資料：総務省「人口推計」				

2. 少子高齢化の原因

このように子どもの出生率が低下したもっとも大きな要因は、未婚・晩婚の増加、結婚後の妊娠、子育てに対する不安などが考えられている。社会経済の変化、働き方や消費生活が大きく変わり、家族や男女などの社会的関係や価値観の変化および多様化が起り、これまでのライフスタイルとは異なった生活を求める人々が増えてきているためである。

3. 少子高齢化に伴う問題点

少子高齢化が進むと労働人口が減少し、とくに、労働力の縮小と消費市場の縮小が経済に大きな影響を与えると予測される。また、高齢化が進むことで年金、医療、介護などの社会保障費が増加して、国民の負担が増大するのではないかと懸念されている。

4. 少子高齢化への対策

2021年社会保障・人口問題基本調査＜結婚と出産に関する全国調査＞「第16回出生動向基本調査」によると、未婚男女の結婚意欲や希望子ども数、夫婦の予定子ども数といった、家族をつくる意欲は一段と引き下がる方向に変化し、結婚することや、子どもを持つことは必ずしも必要ではないと考える人が増え、個人の生活や価値観を大切に考える考え方の支持が増えた。

また、男性、女性の役割について行動、意識ともに大きく変化し、仕事と子育てを両立させる生き方を理想とする割合が初めて最多となった。妻となる結婚相手に経済力を求め

る男性や、夫になる相手に家事・育児の能力や姿勢を求める女性が増えるなど、行動、態度の両面で男女差が縮小している。

これらのことから、新型コロナウイルス感染症が結婚・子育て世代に与える影響を注視しつつ、安心して子どもを産み育て、将来の展望を描ける環境をつくることが重要である。

参考資料：

内閣府「令和4年版少子化社会対策白書（全体版<HTML形式>）」

<https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2022/r04webhonpen/index.html>

内閣府「令和4年版高齢社会白書（全体版）」

<https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2022/html/zenbun/index.html>

国立社会保障・人口問題研究所

<http://www.ipss.go.jp/>

2021年社会保障・人口問題基本調査 <結婚と出産に関する全国調査>

第16回出生動向基本調査 結果の概要

<https://www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/doukou16/JNFS16gaiyo.pdf>